

水について考えたこと

私は今まで当たり前前に水が使える環境で育ってきました。そのため、今まで生活のなかで水について深く考えたことがありませんでした。

今回この「水の作文」の課題が宿題で出されたことで、初めて水についてしっかりと考えました。

今、私は水道の蛇口をひねれば好きなだけ水が出て、スーパーに行けばミネラルウォーターなどの飲み水も簡単に手に入れることができる水に困らない生活をしています。ですが世界では水不足が大きな課題となっていることを知りました。

世界で安全な飲み水を確保できない人は約21億人にのぼると推定され、そのことが原因で食糧危機や国際紛争にまで発展しているそうです。何故水がないだけで国際紛争にまで

発展するのかよく分からないし、とても驚きました。

現在水不足は人口増加と地球温暖化によってさらに悪化しており、個人や村単位では井戸の水をめぐる対立や水不足に対するデモ、さらに国同士では川、ダムなどの水資源の使用権をめぐることなどが紛争の引き金となっているようです。

私は水不足を解消することができたら、このような食糧危機や国際紛争も少しは減らすことができるのではないかと思いました。

私たちの住む地球は、「水の惑星」とも呼ばれており、実際、地球の表面積の3分の2は水で覆われています。その水資源のうち約97.5%が海水。その残りわずか2.5%程度が淡水と言われています。飲み水や生活のために必要な淡水を節約することももちろん大

奈良市立富雄第三中学校 一年

樋口 祐乃

切ですが、逆にこんなにたくさんある海水をどうにかして使える水に変えることはできないだろうかと思ひ、インターネットで調べてみました。

調べた結果、「海水淡水化技術」という海水を淡水に変える技術があるということを知りました。塩水に人工的に浸透圧以上の圧力をかけると、塩水にある水の分子だけが半透膜を超えて、淡水側に押し出されます。これを逆浸透現象というようです。この原理を活かすことで、海水を淡水化することが可能になるようです。ただ、この技術には大きなエネルギーが必要であること。また、周辺環境を悪化させるといった問題も生じてきているようです。こうした問題を解決するための水処理システムができていくという事実もありますが、低コストで実用化できる未来が1日も早く来るといいなと思ひました。

最後に、当たり前前に自分の周りにある水が当たり前前ではない人がある現実を知った今、私にできることはなんだろうと考えました。一つ一つは小さいことですが、お風呂や手を洗う時にシャワーや水道の水を出しっぱなし

にしない。歯磨きの時は流水ではなくコップの水を使うなど出来ることを意識して、当たり前前のことを当たり前と思わずに大切に感謝して使いたいと思ひました。